

取扱説明書

2023年5月10日 初版

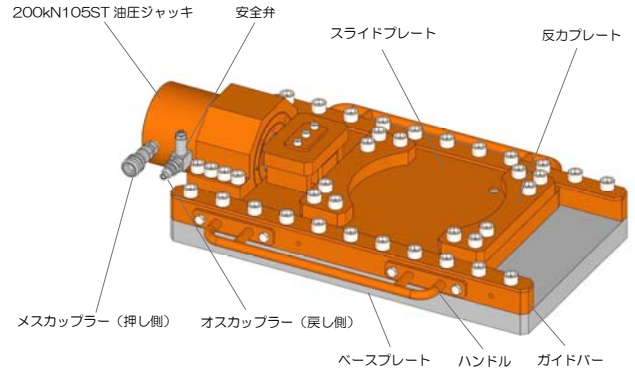
2000kN105 ストローク送り台

3000kN105 ストローク送り台



4. 各部名称

△注意
安全弁は出荷時に適切に調整されています。
お客様による調整はおやめください。



5. 使用前点検

点検箇所	点検内容
油圧ジャッキ	<input type="checkbox"/> 損傷の有無 <input type="checkbox"/> 油漏れの有無 <input type="checkbox"/> 設置位置の確認
カップラー	<input type="checkbox"/> 損傷の有無 <input type="checkbox"/> 油漏れの有無
油圧ホース	<input type="checkbox"/> 損傷の有無 <input type="checkbox"/> 油漏れの有無 <input type="checkbox"/> 接続状態の確認*1 *1 接続手順は別紙参照

6. 作動確認

- △警告 ご使用前に必ず無負荷での作動確認を行ってください。
- △警告 油圧ジャッキを操作する際は、載荷物との間に手指・身体を挟まらない様に注意してください。

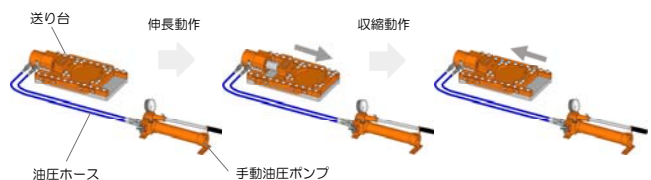
動作の確認

- 送り台と油圧ポンプを油圧ホースにて接続する。
- 油圧ポンプを伸長動作に切り替え*1、送り台ジャッキ押し側に作動油を少しずつ送り込む。
- 送り台が少しずつジャッキ伸長方向に可動することを確認する。*2

*1 使用する油圧ポンプによって操作方法が異なります。詳細は各油圧ポンプの取扱説明書をご確認ください。
*2 ロッドが完全に伸長すると圧力が上昇します。油圧ポンプの圧抜き操作*1にて圧力を下げてください。

収縮動作の確認

- 油圧ポンプを収縮動作に切り替え*1、送り台ジャッキ戻し側に作動油を少しずつ送り込む。
 - 送り台が少しずつジャッキ収縮方向に可動することを確認する。*2
- *1 使用する油圧ポンプによって操作方法が異なります。詳細は各油圧ポンプの取扱説明書をご確認ください。
*2 ロッドが完全に収縮すると圧力が上昇します。油圧ポンプの圧抜き操作*1にて圧力を下げてください。



油圧ジャッキと油圧ポンプの組み合わせ例

1. 使用上の注意

送り台をご使用の際は必ず本書をお読みにになり、内容を十分に理解してから取り扱ってください。

2. 仕様

- ・周囲使用温度 -5℃ ~ 40℃
- ・作動油 ISO-L-HM VG-32 相当品
- ・ジャッキ仕様 各ジャッキの銘版をご確認ください

3. 安全上の注意

注意事項は下記3種類に分類しております。

- △危険 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負う事柄。
- △警告 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負う可能性がある事柄。
- △注意 取扱いを誤った場合、身体に損傷を負う可能性又は物的損害が発生する可能性がある事柄。
- △警告 送り台に搭載する油圧ジャッキは組み合わせが限定されています。*1 規格外のジャッキを使用すると、ジャッキが転倒し大きな事故につながる可能性があります。
- △警告 複数の送り台を使用する場合は、送り台の可動方向を合わせてください。異なった方向に可動させると、積載物を破損させる可能性があります。
- △警告 複数の送り台を使用する場合は、送り台の可動速度を合わせてください。
- △警告 送り台に衝撃荷重を負荷させないでください。また送り台本体に打撃を与える、落下させるといった強い衝撃を与えることはおやめください。作動不良や油漏れを起こす可能性があります。
- △警告 油圧ホースは確実に接続してください。接続不良の場合、送り台が破損する可能性があります。別紙記載のカップラー脱着手順を参考に確実に接続してください。
- △警告 送り台で積載物を移動する際に、搭載した油圧ジャッキと積載物の受け面で滑りが発生した場合は直ちに移動を止めて下さい。
- △警告 送り台動かす際に、搭載した油圧ジャッキのカップラー等が周辺設備に干渉しないようにジャッキを設置してください。カップラーが破損すると、積載物が急激に落下する可能性があります。
- △警告 送り台のベースプレートは水平に設置してください。積載物が逸走する可能性があります。
- △警告 送り台のベースプレート下面が全面接触するように設置してください。
- △注意 送り台のベースプレート上にゴミや異物がある場合は、除去してください。そのまま送り台を可動させると送り台を破損する可能性があります。
- △注意 油圧ホースに重量物を載せないでください。また、ねじれが発生するような使用方法もおやめください。潰れやキック等の変形により強度が著しく低下し、油漏れの原因となります。
- △注意 送り台近傍で溶接作業等を行う場合は必ず送り台と油圧ホースを火花養生してください。高温により損傷し油漏れの原因となります。
- △注意 各油圧ジャッキの銘版に記載されている最高使用圧力以上でのご使用はおやめください。
- △注意 送り台の改造はおやめください。動作不良につながる可能性があります。

*1 送り台搭載ジャッキ組み合わせ一覧

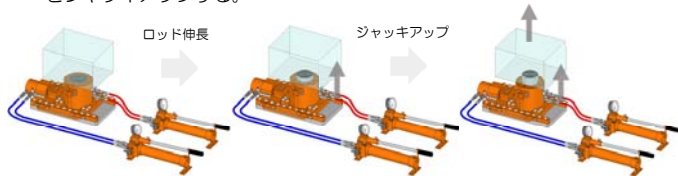
送り台	搭載可能ジャッキ
2000kN105ST	・2000kN75ST ・2000kN75ST ユニバーサルヘッド付き ・2000kN75ST ・2000kN75ST ユニバーサルヘッド付き
3000kN105ST	・3000kN100ST ・3000kN120ST ユニバーサルヘッド付き

7. 送り台操作手順

⚠危険 油圧ジャッキが加圧されている際に、急激な圧抜き操作はおやめください。載荷物のバランスが崩れ荷が落下する可能性があります。

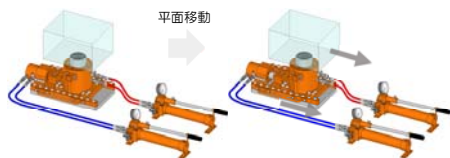
ジャッキアップ

1. 所定位置に送り台と油圧ジャッキを設置する。
※積載物移動方向の動き代を考慮して、送り台ジャッキジャッキのストロークを調整してください。
2. 送り台及び油圧ジャッキと油圧ポンプを油圧ホースにて接続する。
3. 油圧ポンプを操作し、油圧ジャッキのロッド先端が載荷物に触れるまで伸長させる。
4. 油圧ポンプの圧力ゲージを確認しながら油圧ジャッキに圧力をかけ、載荷物をジャッキアップする。



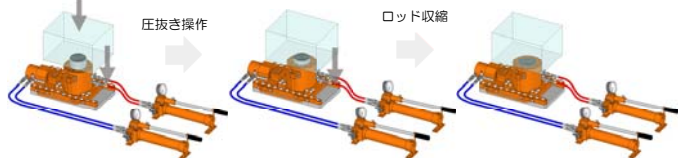
積載物の移動

1. 油圧ポンプの圧力ゲージを確認しながら送り台ジャッキに圧力をかける。
※複数台で移動を行う際は、各送り台ジャッキ可動速度が同調するようにポンプの吐出量を揃えてください。
2. 所定位置まで移動が完了したら、送り台ジャッキの圧力をゼロにする。



ジャッキダウン

1. 油圧ポンプの圧力ゲージを確認しながら圧抜き操作を慎重に行い、ゆっくりと圧力を下げていく。
2. 圧力ゲージの値がゼロになったことを確認後、油圧ポンプを収縮動作に切り替えロッドを収縮させる。



8. 不具合の内容及びその原因と対策

症状	考えられる原因	処理
油が漏れている	<input type="checkbox"/> 油圧ジャッキ内部の破損 <input type="checkbox"/> カップラーの破損 <input type="checkbox"/> 油圧ホースの破損 <input type="checkbox"/> 油圧ホース接続時の少量の漏れ	<input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> 機材・部品を交換する <input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> ふき取り、再度漏れる場合は機材を交換する
ロッドが伸長（収縮）しない	<input type="checkbox"/> 油圧ホースの接続不良 <input type="checkbox"/> ロッドが完全に伸長・収縮している <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの操作ミス <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの油量不足 <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの破損 <input type="checkbox"/> 油圧ジャッキ内部の破損 <input type="checkbox"/> 油圧ジャッキの能力不足	<input type="checkbox"/> 接続状態を確認する <input type="checkbox"/> 伸長量を確認する <input type="checkbox"/> ハルブを確認する <input type="checkbox"/> タンク内を確認する <input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> 適切な機材を選定する
圧力が保持されない	<input type="checkbox"/> 油圧ポンプの操作ミス <input type="checkbox"/> 油圧ホースの接続不良 <input type="checkbox"/> 油圧ジャッキ内部の破損 <input type="checkbox"/> 油圧ポンプの破損	<input type="checkbox"/> ハルブ類を確認する <input type="checkbox"/> 接続状態を確認する <input type="checkbox"/> 機材を交換する <input type="checkbox"/> 機材を交換する

9. お問い合わせ先・改訂履歴

ご不明な点は下記までお問い合わせ願います。

大瀧ジャッキ株式会社

本社 住所：東京都足立区北加平町 4-16
電話：03-3620-0171
大阪支店 住所：兵庫県伊丹市野間北 3-4-17
電話：072-783-1360
三郷機材センター 住所：埼玉県三郷市早稲田 8-13-9
電話：048-958-7272

改訂履歴

印刷年月日	版数	改訂内容
2023年5月10日	初版	